

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	流涙症における綿糸法の有用性の検討
当院の研究責任者(所属)	田中 杏 (真生会富山病院 アイセンター)
他の研究機関および各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	流涙症の診療では、涙液量の定量が重要です。涙液量の検査には、前眼部光干渉断層計 (Optical Coherence Tomography: OCT) の発達により、涙液メニスカス高 (tear meniscus height: TMH) が使われるようになり、その他にも綿糸法やシルマー試験などがあります。通常、流涙症の涙液定量には、TMHが使用されますが、前眼部OCTのある施設でしか測定できません。また綿糸法やシルマー試験はドライアイの検査法として用いられますが、流涙症の評価に用いられた報告はありません。綿糸法とTMHの相関を調べ、涙液量の評価に対する綿糸法の有用性を調べることを目的とします。
調査データの該当期間	研究実施期間: 倫理審査委員会承認日から2027年12月31日 調査データの該当期間: 2024年12月4日から2026年3月11日
研究の方法(対象となる方)	① 当院で涙液量の評価の為に綿糸法とTMHを同日に測定した症例 ② 年齢: 不問 ③ 性別: 不問 ④ 過去の涙道手術歴: 不問
研究の方法(使用する情報)	・患者背景: 年齢、性別、測定眼の左右 ・綿糸法、TMHによる涙液量の測定
試料/情報の他機関への提供	該当なし
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
相談・問い合わせ・苦情	電話: 0766-52-6979 担当者: 田中 杏 (医師)
備考	